



よこはま プロバス 通信

NO 28号 2019年6月発行
 HTTP://yokohama1probus.com

情報委員会 編集委員
 横浜市戸塚区戸塚町1988-24
 メール
 probus.sekiguchi@gmail.com

第202回 2月例会 31名参加 記事 荻原会員

日時 : 2019年2月8日(金) 12:00~13:45
 場所 YBS南幸ビル9階

"出席者 大久保、岡部、荻原、小野寺、加藤道子、加藤豊、金子淳子、金子利成、神谷、小磯、関口、關、ダニエルT山田、丹野、東野、富永、中村、樋口、松下、松本、宮川松原、持田、森山、平野、岩城、内山、保谷、青木、小西、ゲスト平賀(山手RC)"



1 開 会(司会)神谷 幹事

2 会長挨拶岡部 会長

皆さんお元気でしょうか。今月の歌にもある通り、立春が数日前で暦の上では春となり、今年は暖かい春とのことですが、例年通り三寒四温となっています。皆さん体調管理に気を付けてお元気にお過ごしください。

3 ゲスト挨拶横山手ロータリークラブ幹事平賀 様

中込会長が出られず、幹事の平賀が参りましたが、所用があつて挨拶のみで失礼させていただきます。(ご挨拶のみで退席)



6 誕生月会員紹介 田村会員(2/19)欠席、乙幡会員(2/26)退会意向 ・お祝いは送付する。

(1) 理事会報告	・乙幡会員からは高齢で退会願いが出ている。 名誉会員に委嘱することが理事会で話題となった。 ・昨年の全国大会は無事終了したが、春の移動例会が検討された。担当委員から後程報告予定。
例会委員会	移動例会は4月12日(金)に実施。江の島方面で10日に下見をする。4月8日(月)が参加締め切りとする。3月例会時に最終決定し会費5千円を集めます。
会員委員会	なし
情報委員会	今月2月はプロバス通信の発行月で、2月号をホームページに登載済みです。毎月の報告も通信もすべてパソコンで見られますので、PCで閲覧可能な会員には紙での配布はしません。通信2月号の編集後記にその旨記載しましたのでご覧下さい。 ・中村前会長から;奈良プロバスクラブの創立5周年記念会が17日日曜日に開催予定で関東地区担当の岩城新理事が参加予定です。 ・岩城全日本理事;今期の会長から会計報告等があり、前期役員へのお礼もありました。また(全国へ)短い通信を出していきたいとのことです。奈良PCの創立記念会へ行ってきます(森山前幹事長も同行)。

(新)麻雀同好会:神谷会員

まだ具体的には決まっていない。世話人は神谷。参加希望者は連絡下さい。賭けて儲けることが目的ではない。頭の体操で初心者も参加可能。横浜駅西口の会場(雀荘)は常時満員の状況で予約が必要なので4月からスタートしたい。

(新)歴史探訪会;平野会員

「古きを訪ねて新しきを知る」10番目の会、アカデミックの会としては3番目。全国城巡りの提案もある。日本史担当は中村会員、世界史担当はダニエル・山田会員。他のプロバスクラブとの交流もしたい、合同の探訪をしたい、また、家族の同行もよいと考えている。当面、小田原、江戸(東京)からスタート。毎月4金曜日13時から15時(英会話勉強会の前、同会場)で会長は森山会員、4月からスタート予定。

会員放談 岩城会員・

今月は、会員放談の第2巡目、トップバッターとして岩城会員に「思いつくままに」と題して、ドラマチックな半生を語っていただきました。

- ・出生のこと;母親が孝子氏お産のため、戦争末期中国ハルビンから宮崎に帰国したので母子ともに無事であったこと。
- ・4歳の時小児マヒに;野口英世のように、これを機に医師を目指して勉学に励んだこと。
- ・材木商の父親が騙されて事業に失敗;法律を知らないとダメと思い、法曹の勉強に転換したこと。
- ・不動産業へ;父親の勧めもあり、今の業界に入って49年頑張ってきたこと。
- ・55歳の時ご主人を亡くす;それでも家族にも恵まれ、また加藤道子会員に日々お世話になり感謝していること。
- ・結びの言葉;「人間死ぬときにお金は持っていけない、徳の貯金はあの世でもこの世でも使えるので徳を貯めたいと思っている。



第203回 3月例会 29名参加 記事 荻原会員

日時：2019年3月8日(金)
12:00?14:00
場所 YBS南幸ビル9階

出席者 岡部、荻原、小野寺、加藤道子、加藤豊、金子惇子、金子利成、倉嶋康、倉嶋伸 神谷、小磯、関口、關、ダニエルT山田、丹野、東野、富永、樋口、松下、松本、宮川 松原、持田、森山、岩城、内山、保谷、青木、ビジター佐川由紀子



1開 会 (司会)神谷 幹事

2 会長 挨拶 岡部 会長

こんにちは。次回例会は江の島ですが、事前下見に行ってきました。皆さん江の島では水族館へは寄りますが、児玉神社は素通りしてしまいます。児玉神社は、4代目台湾総督として善政をした児玉源太郎が祀られていて、台湾の有志がその功績を顕彰するため資金を集め建設したものです。築地本願寺などを建造した伊藤忠太の建築になるもので是非立ち寄りたいたいものです。なお、児玉源太郎は、当プロバスの松本会員の姻戚関係の方とのことです。

34ゲスト紹介 再入会の佐川由紀子様

佐川さん挨拶

ご無沙汰しております。30年していたお店を閉店しまして、60歳になり、人生100年時代に後40年どう生きていくか考えた時、プロバス倶楽部を思い出しました。今は、生涯サロン「エバーグリーン」を営業しています。お昼間のお店で、お酒は出しませんが、持ち込みは黙認しますので是非お出下さい。今回、年齢も有資格になり、晴れて再入会。これからの人生を楽しみたいと思っております。

にこにこサロンについて理事会報告は、荻原担当からお願いします。

・にこにこサロンは、今後例会のない8月に理事会後開催し、あと1回はクリスマス会や新年会と同様に、会食を例会終了後にして「にこにこサロン」にすることになりました。一昨年末まで、会食のない進交会館例会時終了後に適宜開催してきましたが、その後毎月食事をするようになりましたので、このように変更したいと思います。従って、12月、1月の他、6月には総会後懇親会がありますので、2月、3月頃にもう1回、例会の懇親会として開催することになりました(今後、同好会とは別になります)。(報告:荻原会員)

例会委員会	移動例会は4月12日(金)に実施。岡部会長と下見をしました。 4/5(金)以降のキャンセルは原則返金なし。当日はブルゾン着用。なお、会から参加者に1000円補助。 神谷幹事 (大久保委員長代理)
会員委員会	なし 加藤(道)会員委員長
情報委員会	プロバイダー料金を支払いました。また、プロバス通信の経費を受領しました。なお、今月のホームページへのアクセス件数は、80件です。プロバイダー料もあるので無駄にならないよう是非アクセスして下さい。 関口 情報委員長

(3)全日本プロバス協議会 岩城全日本理事から

奈良プロバスクラブの創立5周年記念会が2月17日曜日に開催され、中村、森山両顧問と参加しました。90人以上の参加者で大変素晴らしい会でした。会のモットーは「常に青春を」というもので、善意銀行を通じて奈良市に10万円の寄付をしているとのことです。

全日本協議会の運営経費は、会費値上げ後も厳しいようです。当倶楽部他、県内3クラブが賛助会員になりましたが、10万円出して永久会員になった方もあります。

全国協議会のことはまだ良く分かりませんので、勉強していきます。今回森山さんにはお世話になり感謝いたします



会員放談 關 会員

・今月は、会員放談の第2巡目、2番バッター關会員に、「放談」名付け親としてその半生を思いのままに語って頂きました。

(お話の概要)

・20代、九州福岡勤務時の経験;「海底に下水管 珍しい敷設工事始まる 福岡市百道海岸」(S.46. 6.7 西日本新聞) この記事にもある通り、直径1.8m、長さ50メートル、200トンの下水管17本の敷設工事を五洋建設が請け負うことになり担当したが、下水管の規模を間違えて大変なことになった。

・北海道勤務時の経験;会計検査院の検査のため、使用する船の掃除をした際、船長のミスで廃油を海に流してノリ業者への補償をする羽目になった。3000万円の黒字が、全て吹っ飛んだ。

・仕事で疲れ切って船内で寝込み、行方不明(海に転落)と見られたことが何度かあった
・室蘭勤務時;大きな工事の起工式で初めて司会を担当したが、各界のVIPが参列するので大変苦労した(紹介順や紹介名称など)。

・38年間勤務して、3回社内懲戒処分を受けた。酒席で同席した人が逮捕されたこともあった。

・県議会に呼ばれて、(請負代金?)の根拠説明を3日間に渡って求められたこともあった



出席者 青木、内山、岡部、荻原、小野寺、加藤道子、加藤豊、金子惇子、金子利成、倉嶋康 神谷、関口、田村、丹野、東野、松下、松本、宮川、松原、持田、森山、保谷、平野、

10時半から新江ノ島水族館で相模湾の2万匹の魚を鑑賞、11:00からイルカショー、11時半からペンギンショー、12時から魚心(uogokoro)ダイビングショーを観覧。その後、例会場へ移動。



1 開 会 12:50 (会場:丸だい 仙水) (司会)神谷 幹事
2 会 長 挨拶 岡部 会長

寒い中、水族館見学、大変お疲れさまでした。本日は、3月例会時にご紹介した江ノ島の児玉神社の続きをお話します。児玉神社は、植民地支配されていた人が建築奉納した珍しい例ですが、同例の後藤新平のことが昨日の読売新聞に掲載されましたので紹介します。台湾総督府の民政長官を務めた後藤新平のデスマスクが、台北市の臨濟護国神社で発見されたというものです。台湾の実業家・古蹟家の献納で、後藤が善政を行い、台湾の人と日本人が友好的に暮らせた良い例だと思えます。この後、是非児玉神社も訪問して頂きたいと思えます。

6 誕生月会員紹介

宮川会員(4/3) 松本会員(4/8) 小野寺会員(4/17) 平山会員(4/20) 欠席 須藤会員(4/25) 欠席 金子利成会員(4/27)
本日は移動例会に付き、お祝い贈呈と挨拶は次回例会にします。

7 会務報告(進行) 神谷幹事

(1) 理事会協議及び決定事項報告 岡部 会長

① 佐川由紀子氏の入会が承認されました。

(2) 各委員会報告(各委員長)

例会委員会 なし 神谷幹事 (大久保委員長代理)
会員委員会 若い会員の方、入会者の紹介よろしくお願ひします。 加藤(道)会員委員長

情報委員会 当倶楽部の各イベント情報をホームページやYOU-TUBEに載せていますので見て下さい。今月のホームページへのアクセス件数は、92件です。 徐々に増加していて、皆さんに関心を持っていただいているようです。

関口 情報委員長

偶然の出会いが

例会食事会の真っ只中 青木元会長に話し掛ける 丸だい仙水の女性STAFFがいました

すると青木元会長が大きな声でいやーおちゃんと抱きついて喜びを表しました 10年前 横浜西口地下で店をやっていた時に働いていた元従業員がこの江ノ島 丸だい仙水で偶然にも再開し元気に働いていたのです



懇親会終了後、有志は児玉神社参拝など江の島を散策し(岡部会長、神谷幹事、関口、松本、田村、荻原各会員ほか)、展望台灯頂上まで行った会員もありました(神谷、関口、荻原;ラインで配信済)。16時、丸だい仙水に再集合し、懇親会続行組共々解散しました。



私の趣味

会員NO42 東野 操さんが 戸塚駅のギャラリーに出品しました

街並みの桜が満開の日、さくらプラザで展示会を行いました。4月の展示会に共ない、桜の花のコーナーを設けみんなで作品作りを頑張りました。来場者の方々は、本物の桜を見た後での会場の桜に、とても感動して下さいました。因みに作品展に使用した花の種類は80種でした。どんな花でも作品に出来のが、会の特徴です。4/5 戸塚区役所のギャラリーで展示していると聞き区役所まで行ったので見学しました あいにく 東野さんは来ていませんでしたが 細かい作業の素晴らしい作品に驚きました

関口記



第205回 5月例会 29名参加 記事 荻原会員

日時：2019年5月10日
(金) 12:00～14:00
会場：YBS南幸ビル9F

(出席者)山田、青木、宮川、関口、倉嶋、松原、岡部、持田、金子惇子、保谷 内山、小野寺、中村、小磯、森山
大久保、加藤道子、加藤豊、佐川、金子利成、松本、平野、小西、丹野、松下、富永、東野、神谷、荻原



1 開会:司会 神谷幹事

2 会長挨拶 岡部会長

こんにちは。先月の江の島移動例会はご苦労様でした。 令和第1回目の例会です。10日間、遠出の方、自宅の方と様々だったと思いますが、孫が来て大変だった方もいるかもしれませんね。外は花盛りで青葉の季節ですが、今朝、九州では大地震があったようです。九州ご出身の方はご心配のことと思います。さて、令和の英訳は「beautiful harmony」となっています。

今年がbeautiful harmonyに相応しい良い年であることを祈っています。

(神谷幹事から)令和元号の西暦換算は、2018プラスですが、これをレイワ(018)と覚えておくと簡単です。

6 誕生月会員紹介; 松本会員 宮川会員 小野寺会員 金子利会員 平野会員 佐川会員 加藤道子会員委員長からお祝い贈呈(4月誕生月会員も含めて)

会務報告 大久保例会委 員長

お久しぶりです。退院して2か月ぶりの参加です。お酒も自宅でもほどほどにしています。左腎臓全摘を腹腔鏡手術で行い、翌日から歩行、10日間の入院で、以後自宅療養して生還しました。

(2) 各委員会報告

- 大久保例会委員長; 来月は総会です。会費は3千円、ブルゾン着用願います。
- 加藤道子会員委員長; 入会促進にご協力願います。
- 関口情報委 記事はいつも荻原会員にお願いしております 感謝 感謝です。

(3) 全日本プロバス協議会; 森山全日本顧問

青森県六ヶ所村プロバスクラブの15周年(10周年?)祝賀会に岩城全日本理事のエスコート役で参加します(今月)。

事務局報告

- (1) 欠席者; 一色会員;不明 倉嶋伸会員;不幸があり欠席 田村会員;欠席 平山会員;不明 水田会員;体調不安 定で欠席 松田会員;入院中 関会員;バーベキュー大会で帰宅途中、強風に煽られ転倒左足骨折。 全治時期不明、総会出席も不明。お互いに注意しましょう。

会員放談; 東野会員

(放談概要)

会員放談2巡目の2番手として

「横濱プロバス倶楽部で活動することになった経緯、人との出会い」についてお話し頂きました。

- ・1970年、会社社長秘書として、新ロータリークラブ設立の国際ロータリー認証式に参加した(プロバス倶楽部入会前の経験)。
- ・1990(H2)年、主人の体調悪化し、在宅介護研修を受講、福祉サービスの「こすもす会」を設立した
- ・1995年、主人の癌が再発して死去。ここから自分の人生が開始。
知人であった岩城孝子さんの勧めで、ライオンズクラブに入会。
(生前に主人が経済的準備をしてくれていたため入会し活動できた。)
- ・ライオンズ活動でベトナムへ5回行った。枯葉剤の影響視察で、ベトナムにも会った。マンガローブの林の中、メコン川を国境まで遡り上陸したことが心に残っている。
- ・2003年、岩城さんの誘いで当倶楽部に入会し、ライオンズと並行して活動に参加した。
当時は自分より年配者が多く、お手伝いの役割だった。
- ・民生児童委員もしており、人と人との繋がりの重要さを痛感している。
最近では年配者も多く、ケガをしたり病気で、この会へも出られない会員もいる。

自分も思い当たることがあり、上智大学学長を務めたヘルマン・ホイヴェルス神父に友人から送られた詩を紹介したい。

「おのれをこの世につなぐ鎖を少しづつはずしていくのは、真にえらい仕事」(詩の一節)、この手紙になるほど、と思い聞いて頂いた。

・これから人との繋がりを大切に頑張っていきたい。縁あってこうした機会を頂き感謝します。「楽しくなければプロバスではない!」の精神で健康にも気を付けて楽しく活動していきます。

・最後に、ライオンズクラブの例会終了時に歌われる唄を、披露します(ご自身の美声で独唱)。



カメラ片手に席をうろろうする関口会員と記録を書いている荻原会員

